

1 題材 インターネット上でやりとりする時に気を付けることを考えよう

2 本時の指導

(1) 目標

インターネット上でのやりとりでは、送った相手がすぐに返すことができない場合があることを理解させ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりをもって接する態度を高められるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

「つかむ」「集める」「まとめる」「伝える」「振り返る」という一連の学習の流れを踏まえることで、より情報モラルの理解を深めさせる。「集める」「まとめる」「伝える」場面では、ワークシートを活用して、トラブルとなった「原因」その後、「対策」を記入し、ここでもった自分の考えを基に意見交流を行う。

(3) 準備 ワークシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
7分 (3)	1 学習課題をつかむ (1) 事前アンケートの結果を見て、情報通信機器が身近に使われていることに気付く。	○ 全国の小学5年生のスマートフォン所持率と学級のスマートフォン所持率を示し、本学級が全国平均よりも所持率が高いことに気付かせる。
(4)	(2) メール体験で嬉しかったこと、困ったことを発表し、本時のめあてをつかむ。	○ 「メールの返事が来て嬉しかった」という意見を取り上げ、同じ考えの児童に挙手させ、返事が来ると嬉しいことを確認する。
本時のめあて インターネット上でやりとりする時に気を付けることを考えよう		
14分 (2)	2 文部科学省情報モラル動画を見て、トラブルの原因について理解する。 (1) 登場人物と動画の概要を知る。	○ 写真を見せ、わかなさん、はなえさん、あかねさんの3人の登場人物がいることを確認する。
(12)	(2) 動画を視聴し、トラブルの原因について考える。	○ 返事ができなかったために仲間ははずれになったトラブルであることを確認する。
19分 (9)	3 動画のトラブルの対策を考える。 (1) 3人の登場人物がどのように行動すれば良かったのか自分の考えを書く。	○ 「3人の中にはどのような約束がありましたか」と問い掛け、3分以内に返信するという約束があったことを確認する。
(10)	(2) 解決策を全体で話し合う。	○ 「トラブルが起きる前にしたほうが良かったことはありませんか」と問い掛け、友達同士の約束を見直すことや事前に家のルールを伝えておくなどの対策に気付かせる。
<p>評価事項</p> <p>インターネット上でのやりとりでは、送った相手がすぐに返すことができない場合があることを理解させ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりをもって接する態度を高めることができたか。 【ワークシートへの記述・発言】</p> <p>□… 授業の内容をワークシートをもとに振り返らせ、相手への思いやりの気持ちをもつための行動について考えるように促す。</p> <p>☆… 学んだことを自分の生活にどのように生かせるか考えるよう促す。</p>		
5分	4 本時のめあてをふりかえり、まとめをする。	○ 「返事がなかなか返ってこない時には、どうしますか」と発問する。
		○ すぐに返せない相手の状況や相手の立場を思いやった記述を称賛する。

※ 斜体…情報活用能力を育成する学習活動